

12 同訓異字 (2)

名前

年 組 番

①〔同訓異字の区別〕 次の□にあてはまる同じ読み
の漢字を書きなさい。

3点×10

① はなす

ア 二人の席を□す。

イ 保護した鳥を空に□す。

② やさしい

ア 兄はいつも□しい。

イ □しい問題から解き始める。

③ きわめる

ア 専門分野を□める。

イ 困難を□める事態になる。

④ おす

ア 片手でドアを□す。

イ 友人を学級委員に□す。

⑤ かえりみる

ア 自らの言動を□みる。

イ 日本の歴史を□みる。

②〔同訓異字の訂正〕 次の——線の漢字が間違つて

いれば正しい字を、正しければ○を書きなさい。

5点×14

① あせつて判断を謝る。

② 姫が眠りから冷める。

③ 泉の水面に姿を写す。

④ 固い約束を交わす。

⑤ 万全の準備をして試合に望む。

⑥ 私が全責任を追う。

⑦ 墓前に花を備える。

⑧ 自転車で国境を超える。

⑨ 胸が踊る出来事。

⑩ 大きな岩に仏像を掘る。

⑪ 神技にも等しい働き。

⑫ 和室のたたみが痛む。

⑬ 道の水たまりを飛ぶ。

⑭ 他校との交流を語る。

12 同訓異字 (2)

名前

年組番

100点

【同訓異字の区別】 次の□にあてはまる同じ読み
の漢字を書きなさい。

3点×10

① はなす

ア 二人の席を離す。

イ 保護した鳥を空に放す。

② やさしい

ア 兄はいつも優しい。

イ 易しい問題から解き始める。

③ きわめる

ア 専門分野を究める。

イ 困難を極める事態になる。

④ おす

ア 片手でドアを押す。

イ 友人を学級委員に推す。

⑤ かえりみる

ア 自らの言動を省みる。

イ 日本の歴史を顧みる。

【同訓異字の訂正】 次の——線の漢字が間違っていれば正しい字を、正しければ○を書きなさい。

5点×14

① あせって判断を謝る。

誤

② 姫が眠りから冷める。

覚

③ 泉の水面に姿を写す。

映

④ 固い約束を交わす。

○

⑤ 万全の準備をして試合に望む。

臨

⑥ 私が全責任を追う。

負

⑦ 墓前に花を備える。

供

⑧ 自転車で国境を超える。

越

⑨ 胸が踊る出来事。

躍

⑩ 大きな岩に仏像を掘る。

彫

⑪ 神技にも等しい働き。

業

⑫ 和室のたたみが痛む。

傷

⑬ 道の水たまりを飛ぶ。

跳

⑭ 他校との交流を語る。

図